



61 こみせ

青森県 黒石市

伝統的雁木構造を保存し、住民が管理を行ってきた。積雪地帯における創意工夫。地域のシンボル。



黒石市の中町、浜町は、弘前と青森を結ぶ街道沿いの町であり、道路沿いには津軽特有の切妻造りの商家と町屋が並んでいる。

この街並の道路沿いに庇屋根が続いたものが、こみせである。その屋根は本屋とは別にすきま空間として築造され、冬季は雪の侵入を防ぎ、夏には雨や日照から歩行者を守っている。

歩行者は軒下伝いに歩きながら、買物をしたり、用事をしたりすることができ、かつては遠方から馬ソリで荷物を運んできた人々が、こみせの柱に馬をつないで荷をおろしたといわれる。

江戸時代に築造されたこみせは、今日でも黒石市中町に残り、人々の協力により維持管理がなされている。

データボード

■所在地
青森県黒石市大字中町

■応募者
黒石市役所
☎0172-52-2111